令7
173

小　中　高　特　支　養　護　（その１）

解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

1　次の(1)～(3)は、「学校環境衛生基準」(令和6年4月改正　文部科学省)の一部である。次の(a)～(d)にあてはまる数字を書きなさい。

(1)　浮遊粉じんは、(a)mg／m^3以下であること。

(2)　水泳プールの水質の一般細菌は、1mL中(b)コロニー以下であること。

(3)　教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq(c)dB以下、窓を開けているときはLAeq(d)dB以下であることが望ましい。

2　次の文は、「学校において予防すべき感染症の解説」(令和5年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）に示されている、咽頭結膜熱についての一部である。次の(a)～(d)にあてはまる語句や数字を書きなさい。

・　病原体は、(a)。

・　感染経路は、飛沫感染、(b)。塩素消毒が不十分な(c)での目の結膜からの感染もある。

・　出席停止期間の基準は、発熱、咽頭炎、結膜炎等の主要症状が消退した後(d)日を経過するまでである。

3　「子どもの心のケアのために―災害や事件・事故発生時を中心に―」(平成22年7月文部科学省）に示されている内容について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1)　災害や事件・事故などが契機としてＰＴＳＤとなった場合の反応の一つである「アニバーサリー反応」について簡潔に説明しなさい。

(2)　次の文章は、危機発生時における健康観察の留意点の一部である。次の(a)～(e)にあてはまる語句を下のア～シから選んで記号で書きなさい。

健康観察では、災害や事件・事故発生時における子どもの(a)症状の特徴を踏まえた上で、健康観察を行い、子どもが示す心身の(b)を見過ごさないようにする。心の症状のみならず、腹痛や頭痛、眠れない、食欲不振などの(c)症状にも注目して行うことが肝要である。また、災害や事件・事故発生時においては、日ごろから抱えている心身の健康問題が(d)しやすいので、そのような子どもに対しては状態の(e)などに留意して健康観察を行う。

ア　器質性	イ　ストレス	ウ　危機感	エ　変化
オ　表面化	カ　不安感	キ　サイン	ク　潜在化
ケ　安定	コ　パニック	サ　悩み	シ　身体

4　次の文章は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）に示されている学校医の職務執行の準則の一部である。次の(a)～(e)にあてはまる語句を書きなさい。

第22条１　学校保健計画及び学校安全計画の(a)に参与すること。

２　学校の環境衛生の(b)及び改善に関し、(c)と協力して、必要な指導及び(d)を行うこと。

８　校長の求めにより、(e)に従事すること。

5　次の文は、中学校学習指導要領「第２章　各教科」「第７節　保健体育」「第２　各学年の目標及び内容」〔保健分野〕「１　目標」、高等学校学習指導要領「第２章　各学科に共通する各教科」「第６節　保健体育」「第２款　各科目」「第２　保健」「１　目標」の一部である。次の(a)～(f)にあてはまる語句を書きなさい。（同じ記号には同じ語句が入るものとする。）

中学校学習指導要領
(1)　個人生活における(a)・安全について理解するとともに、基本的な(b)を身に付けるようにする。
(2)　(a)についての(c)の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に(d)を養う。
(3)　(e)を通じて心身の(a)の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む(f)を養う。

高等学校学習指導要領
(1)　個人及び社会生活における(a)・安全について理解を深めるとともに、(b)を身に付けるようにする。
(2)　(a)についての(c)や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に(d)を養う。
(3)　(e)を通じて(c)の(a)の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む(f)を養う。

6　次の文章は、「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）に基づく健康診断に関する記述である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

（尿の検査方法及び技術的基準）
・　正しい採尿は、就寝前に排尿をさせ、翌朝一番尿を少し排尿してから(a)を10ml程度採尿する。
・　蛋白尿は(b)～(c)時間後に(d)することがあるので、検査は採尿した当日（採尿後５時間以内）に完了することが望ましい。

（健康診断時に注意すべき疾病及び異常）
・　慢性腎炎症候群は、蛋白尿や血尿が(e)にみられ、病気の進行とともにむくみや高血圧などの他に、腎臓の働きの低下がみられる病態を指す。
・　滲出性中耳炎は、鼓膜に(f)がなく、中耳腔に貯留液があり(g)の原因となるが、耳痛や発熱のない中耳炎である。

(1)　(a)～(g)にあてはまる語句や数字を書きなさい。
(2)　下線部について、児童生徒等にみられる病気を２つ書きなさい。

7　てんかんの既往歴のある子どもが、教室で座って授業を受けていたところ、全身の大きなけいれん発作（強直間代発作）を起こして倒れた。けいれん発作を起こしてから治まるまでの発作への対応・介助について、簡潔に４つ書きなさい。ただし、出血や外傷は見られず、発作時に使用する抗けいれん薬は持っていないものとする。

8　次の文章は、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)に示されている内容の一部である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

（学校保健計画の策定等）

第５条　(a)においては、児童生徒等及び(b)の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び(b)の(c)、(d)、児童生徒等に対する(e)その他保健に関する事項について計画を策定し、これを(f)しなければならない。

（保健所との連絡）

第18条　(g)は、この法律の規定による(c)を行おうとする場合その他政令で定める場合においては、保健所と連絡するものとする。

(1)　(a)～(g)にあてはまる語句を書きなさい。(同じ記号には同じ語句が入るものとする。)

(2)　下線部について、保健所と連絡すべき場合を２つ書きなさい。

9　「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」(令和3年5月　環境省・文部科学省)に示されている内容について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1)　次の表は、熱中症を引き起こす要因を示したものである。次の(a)～(f)にあてはまる語句を書きなさい。

（表　熱中症を引き起こす要因）

環境	からだ	行動
・気温が高い ・(a)が高い ・(b)が弱い ・日差しが強い ・閉め切った室内 ・エアコンがない ・急に暑くなった日 ・熱波の襲来	・高齢者、乳幼児、(c) ・からだに障害のある人 ・持病(糖尿病、心臓病、精神疾患等) ・低(d)状態 ・脱水症状(下痢、インフルエンザ等) ・体調不良 (二日酔い、寝不足等)	・激しい運動 ・慣れない運動 ・長時間の(e)作業 ・(f)がしにくい

(2)　暑さ指数（WBGT）計の推奨する屋外での測定方法について、ポイントを４つ書きなさい。暑さ指数（WBGT）計は日本産業規格に適合した黒球付き機器を用いることとする。

10　次の文章は、「保健室経営計画作成の手引」(平成26年度改訂　公益財団法人日本学校保健会）に示されている、「３　保健室経営計画の作成」の一部である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

保健室経営計画は、(a)にかかわる経営計画として、教職員に(b)を図り連携していくことが望まれている。また、「保健室経営」は、養護教諭の重要な(c)であり、学校全体に関わり学校・家庭・地域の連携のもと(d)していく必要があることから、(e)の観点に立って取り組むことが必要である。

(1)　(a)～(e)にあてはまる語句を書きなさい。

(2)　保健室経営計画に記載する主な内容を５つ書きなさい。

令７

小　中　高　特　支　養　護　正　答　例　（その１）

問題番号	正　答								配　点	
1	(a)	0.10	(b)	200	(c)	50	(d)	55	各２	８
2	(a)	ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ	(b)	接触感染	(c)	プール			各２	８
	(d)	２								
3	(1)	（正答例） 災害や事件・事故などが発生した月日になると、いったん治まっていた症状が再燃すること。							３	１３
	(2)	(a)	イ	(b)	キ	(c)	シ		各２	
		(d)	オ	(e)	エ					
4	(a)	立案	(b)	維持	(c)	学校薬剤師			各２	１０
	(d)	助言	(e)	救急処置						
5	(a)	健康	(b)	技能	(c)	自他			各２	１２
	(d)	伝える力	(e)	生涯	(f)	態度				
6	(1)	(a)	中間尿	(b)	６	(c)	１２	(d)	陰転	各２	１８
		(e)	持続的	(f)	穿孔	(g)	難聴			
	(2)	（正答例） ・IgA腎症 ・膜性腎症 ・ループス腎炎 ・紫斑病性腎炎 ・巣状糸球体硬化症 ・膜性増殖性腎炎　（から２つ）							各２	
7	（正答例） ・平らな場所に寝かせる ・タオルや介助者の手で頭部を保護する ・大きなけいれんをしている場合は、下顎をしたから軽くあげて、舌をかまないようにする ・椅子や机等の危険物を取り除く								各３	１２

令７

小　中　高　特　支　養　護　正　答　例　（その２）

問題番号	正　答						配　点	
８	(1)	(a)	学校	(b)	職員		各２	２０
		(c)	健康診断	(d)	環境衛生検査			
		(e)	指導	(f)	実施			
		(g)	学校の設置者					
	(2)	（正答例） 法第19条の規定による出席停止が行われた場合					各３	
		（正答例） 法第20条の規定による学校の休業を行った場合						
９	(1)	(a)	湿度	(b)	風	(c) 肥満	各２	２４
		(d)	栄養	(e)	屋外	(f) 水分補給		
	(2)	（正答例） ・黒球を日射に当てる（黒球が陰にならない） ・地上から1.1m程度の高さで測定 ・壁等の近くを避ける ・値が安定してから（10分程度）測定値を読み取る					各３	
１０	(1)	(a)	全校	(b)	周知		各２	２５
		(c)	職務	(d)	推進			
		(e)	学校経営					
	(2)	（正答例） ・学校教育目標　・今年度の重点目標 ・学校経営方針 ・児童生徒の心身の健康課題 ・学校保健目標　・保健室経営目標 ・目標を達成するための具体的な方策 ・評価計画（自己評価・他者評価） （から５つ）						各３	
配点合計							１５０	